

故郷を失った難民の日々 ～シリア難民から考える世界～

YUKA KOMATSU 「シリア難民写真展」 同時開催

中東や北アフリカで起きた大規模反政府運動「アラブの春」をきっかけに、2011年から続くシリア内戦。戦火を逃れ、隣国トルコやヨーロッパ諸国で難民として生きる人々の暮らしを長期にわたり取材する、ドキュメンタリーフォトグラファーの小松由佳さんにお話しいたします。
ある日突然、ふるさとを追われ生きるとは...

「報道されることだけが全てではありません。世界で起きている出来事に目を向け、考え続けることが大切だと信じ、私はシリア難民の取材を続けています。」
ドキュメンタリーフォトグラファー 小松 由佳



YUKA KOMATSU 小松 由佳
ドキュメンタリーフォトグラファー

2008年より砂漠の暮らしに惹かれ、シリアなど中東地域を撮影。2011年からシリアの紛争によって多くの難民が生まれる光景を目にし、シリア難民の取材を始める。現在、シリア人の夫の親族が暮らす、トルコ南部のシリア難民コミュニティを継続して取材。コロナの流行、物価の上昇や難民排斥運動などで変化していくシリア難民の姿を、淡々とした日常の風景から伝えるを試みている。2022年は11年ぶりに夫の故郷であるシリア中部バルミラを取材した。
著書『人間の土地へ』（集英社インターナショナル2021年9月）。第8回山本美香記念国際ジャーナリスト賞受賞。シリア人の夫と二人の子どもと東京都在住。公益社団法人日本写真家協会会員。



2024年7月21日（日）

PM1:30 - 3:30

ぴゅあ総合 2F 中研修室
(甲府市朝気1-2-2)



アクセス

◆ 1:30 「JICA海外協力隊の経験とシリア伝統工芸との出会い」
DAMASHQUIE (ダマシュキエ) 赤星真弓さん

◆ 2:00 「故郷を失った日々 ～シリア難民から考える世界～」
ドキュメンタリーフォトグラファー 小松由佳さん

● 参加費：無料

● 定員：30人

● 申込み：右のQRコードから
お申込みください



お申込み

YUKA KOMATSU 「シリア難民写真展」

● 場所：ぴゅあ総合 1F ロビー

● 期間：7/21～7/24 AM9:00～5:00

ただし7/21はPM1:00～、7/24はPM0:00まで

■主催：山梨県 ■共催：JICA横浜

■問合せ・運営：(公財) 山梨県国際交流協会

〒400-0862 甲府市朝気1-2-2 山梨県立国際交流・多文化共生センター

Tel. 055-228-5419 Fax. 055-228-5473 E-mail.webmaster@yia.or.jp